

令和 2 年 度

当 初 予 算 の 概 要
(抜 粋)



ありがとう知立!
これからも知立!

知 立 市

《予算の規模》

総額	393億1,790万円	(前年度比 7億3,840万円 1.9%増)
▶ 一般会計	246億円	(前年度比 8億円 3.4%増)
▶ 特別会計	95億6,360万円	(前年度比 △2,900万円 0.3%減)
▶ 企業会計	51億5,430万円	(前年度比 △3,260万円 0.6%減)

☆一般会計

《歳入の概要》

● 市 税	124億107万円	(前年度比 1,178万2千円 0.1%増)
・ 個人市民税	52億9,835万4千円	(前年度比 6,738万1千円 1.3%増)
・ 法人市民税	7億1,625万2千円	(前年度比 △1億5,227万7千円 17.5%減)
・ 固定資産税	48億146万5千円	(前年度比 1億271万6千円 2.2%増)
● ふるさと応援寄附金	6,000万円	(前年度比 1,000万円 20.0%増)
● 財政調整基金繰入金	12億4,255万3千円	(前年度比 2億20万2千円 19.2%増)
		(当初予算編成後残高見込 1億836万4千円)
● 市 債	15億1,900万円	(前年度比 △2,290万円 1.5%減)
		(令和元年度末残高見込 179億3,985万6千円)

主な市債

・ 庁舎照明設備等改修事業	2,840万円	・ 幹線市道路面緊急対策事業	3,420万円
・ 牛田町八橋1号線道路改良事業	3,480万円	・ 長田排水路改修事業	4,170万円
・ 知立連続立体交差事業	9億1,200万円	・ 知立駅周辺土地区画整理事業	2億500万円
・ 知立環状線整備事業	4,540万円	・ 八橋東西線整備事業	6,730万円
・ 中央公民館照明設備等改修事業	5,080万円	・ 文化会館照明設備等改修事業	7,660万円

《歳出の概要》

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

1 洪水ハザードマップ作成事業

【臨時】 6,400 千円（土木課）

洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、愛知県管理河川である逢妻川及び猿渡川の浸水想定区域の見直し結果を反映し、洪水ハザードマップの更新を行う。

2 国土強靱化地域計画策定事業

【臨時】 9,691 千円（安心安全課）

強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法に基づき、あらゆる災害等に備え、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた計画を策定する。

3 地域福祉計画策定事業 【臨時】 1,415 千円（福祉課）

地域における福祉サービスの適切な利用の推進や、地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項等を定めた地域福祉計画について、次期計画の策定を行う。

4 知立市立ひまわり園（児童発達支援センター）開設事業

【新規】 19,835 千円（子ども課）

重症心身障がい児をはじめ、未就学の障がいのある子ども又はその可能性のある子どもへの発達支援や、その家族への支援を行う。

5 徘徊高齢者等見守りネットワーク事業

【新規】 88 千円（長寿介護課）

認知症高齢者等が鉄道事故等を起こした際、家族が高額な賠償金を請求される問題が発生している状況に鑑み、知立市が契約者となる個人賠償責任保険に加入することで、認知症の人やその家族の精神的な負担を軽減し、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進する。

6 庁舎照明設備等改修事業

【臨時】 66,838 千円（総務課）

7 中央公民館照明設備等改修事業

【臨時】 113,084 千円（生涯学習スポーツ課）

8 文化会館照明設備等改修事業

【臨時】 176,678 千円（文化課）

持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取組として、実効的・継続的な温室効果ガス排出の削減が期待できる省エネ設備を導入する（6番から8番まで）。

人々が集う交流のまちづくり

- 1 (仮称) 知立蔵福寺地区土地区画整理事業
【新規】 47,771 千円 (まちづくり課)
良質な住宅地を供給し、人口増加を図るため、市街化区域編入を伴う土地区画整理事業を行う。
- 2 幹線市道路面緊急補修事業 63,000 千円 (土木課)
1・2級幹線道路の舗装修繕を実施することで、自動車の安全で快適な走行環境を確保し、安心安全な道路の維持を図る。
- 3 牛田町八橋1号線道路改良事業 87,577 千円 (土木課)
三河知立10号踏切について、踏切道改良促進法による指定を受け、踏切構造改良(歩道設置)を実施することにより、歩行者の安全確保を図る。
- 4 八橋東西線整備事業 161,414 千円 (都市計画課)
- 5 花園里線整備事業 35,593 千円 (都市計画課)
- 6 知立環状線整備事業 113,980 千円 (都市計画課)
- 7 知立南北線整備事業 3,267 千円 (都市計画課)
- 8 知立駅周辺土地区画整理事業
880,862 千円 (都市開発課)
- 9 知立連続立体交差事業 1,140,000 千円 (都市開発課)
- 10 西新地地区土地利用計画調査事業
14,187 千円 (まちづくり課)
- 11 知立駅南土地区画整理事業 30,000 千円 (都市開発課)
- 12 知立連続立体交差関連事業 155,310 千円 (都市開発課)

※知立駅周辺整備事業(6番から12番まで)の事業費

令和2年度 2,337,606 千円
(前年度比 154,827 千円増)

- 13 市制50周年事業 【臨時】 25,603 千円 (企画政策課)
市制施行50周年を迎えるに当たり、実行委員会の企画・立案による特別事業、官学連携事業、PR事業の実施などを通じて、知立市への愛着や誇りの醸成を図る。

14 中小企業再投資促進事業

【臨時】 262,498 千円（企業立地推進課）

地域を支える市内企業の再投資を支援することで、事業活動の安定化と企業の市外流出防止を図る。

15 農業振興地域整備計画策定事業

【臨時】 3,087 千円（経済課）

農用地等の面積、土地利用等の調査を実施し、農用地の確保に留意しつつ、上位計画との整合性を図り、農業振興の方向性を検討する。

次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

1 ロタウイルスワクチン定期予防接種事業

【新規】 11,349 千円（健康増進課）

乳幼児に多くみられるロタウイルスによる感染性胃腸炎及びその合併症による脳炎などの重症化を防ぐため、ロタウイルスワクチンの定期予防接種を行う。

2 新生児聴覚検査助成事業

【新規】 4,800 千円（健康増進課）

先天性の聴覚障害の発見を目的として実施される「新生児聴覚検査」に係る費用について公費負担を行うことにより、受診者の経済的負担を軽減し、聴覚障害の早期発見及び早期療育を図る。

3 ひとり親家庭養育費確保等支援事業

【新規】 450 千円（子ども課）

養育費を確実に受け取れる体制を支援すること等により、ひとり親家庭の経済的安定を図る。

4 おむつ廃棄事業 【拡充】 3,512 千円（子ども課）

公立保育園において、使用済紙おむつの持ち帰りをなくすことにより、保護者と保育士の負担軽減を図る。

5 民間保育所施設整備補助事業

【臨時】 206,250 千円（子ども課）

老朽化した保育所の移転に係る改修費や公募した民間保育所の建設費を補助することにより、待機児童解消及び兄弟姉妹で別の園に通園せざるを得ない状況の解消を図る。

6 逢妻保育園乳児保育事業

【臨時】 4,746 千円（子ども課）

逢妻保育園で乳児保育を実施することにより、待機児童解消を図る。

7 少人数学級事業

76,640 千円（学校教育課）

35人学級を小学校全学年で実施する。

- 8 子どもサポート教員配置事業 29,226 千円(学校教育課)
外国人児童生徒へのきめ細かな対応を図る必要のある知立東小学校には3名を、その他の各小中学校には1名ずつを配置し、不登校やいじめのない学校環境づくりを推進する。

◆ 芸術や文化を大切にすまちづくり

1 文化芸術推進基本計画策定事業

【臨時】 3,257 千円(文化課)

心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に向け、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、文化芸術基本法に定める地方文化芸術推進基本計画を策定する。

2 朗読と文楽による歴史絵巻支援事業(市制50周年記念事業)

【臨時】 2,000 千円(文化課)

ちりゅう芸術創造協会が市制50周年事業・開館20周年事業として文化会館で実施する自主企画事業を支援する。

3 文化財案内板設置事業 【臨時】 2,497 千円(文化課)

西町児童遊園において「池鯉鮒宿並絵図」を活用した文化財の説明板を設置することで、歴史的な文化遺産の周知を図る。

4 市史編さん事業 40,249 千円(文化課)

地域に伝わる伝統や文化等を記録・保存し、後世へ引き継ぐとともに広く周知することで、市民の地域に対する理解を深め、過去と現在及び未来を結び付け、これからのまちづくりに役立てる。

◆ 知立が輝くための仕組みづくり

1 知立市議会50周年記念誌発行事業

【臨時】 605 千円(議事課)

市議会50周年の節目の年に、市議会50年の動向を年表等にまとめ、また、市議会の現状、議会改革の取組、今後の展望等を掲載することで、市議会の活動について市民に周知等を行う。

2 AI総合案内サービス事業

【新規】 1,568 千円(企画政策課)

多様化する市民からのニーズや問合せに対し、より効率的に回答するため、窓口時間外でも対応可能な手段として導入する。

3 AI-OCR事業【新規】 903千円（企画政策課）

職員の作業を代わりにを行い、業務の効率化を図ることで、市民への対応の拡充を推進する。

☆特別会計・企業会計の主要事業

1 国民健康保険特別会計

被保険者の保険給付と特定健康診査等保健事業を行う。なお、国民健康保険税の税率について、愛知県の平成30年度決算における剰余金の発生状況等を踏まえ、令和2年度は据え置くこととしている。

2 介護保険特別会計

地域支援事業において、市内2か所目となる地域包括支援センターを知立老人保健施設内に開設する。

3 水道事業会計

お客様から信頼される水道事業をめざして、安全かつ安心な水を供給する水道、災害時も含めて安定供給できる水道、健全で安定した経営を持続する水道の確立に努める。

4 下水道事業会計

経営環境が厳しさを増す中であっても、事業及びサービスを安定的に継続して提供するため、経営戦略を策定し、公共下水道の整備、維持管理を図り、都心の健全な発展及び公衆衛生の向上に努める。

